

感染予防に配慮した小学校の体育学習 「鬼遊び」の配慮事項

2020.10.19 札幌市教育委員会

<https://youtu.be/ARjYqTyQON4>



【授業前】

- 手洗いの指導をしっかりと行う。
- 体育館のドアや窓を開けるなど、換気は可能な限り常時、困難な場合はこまめに行う。

(7分00秒)

【授業中】

<学び方の指導例>

- 密接する場面が多くなることを防ぐため、間隔を十分にとる。

一度に運動するのはなるべく少人数で

両手を広げて触れない程度に(通り抜け鬼など)



- 体育館で授業を実施する場合は、学級単位が望ましい。
- 児童同士の接触はできるだけ避ける。

タグやフラッグ、テープ等を使用



- タグ等をつける際は、シャツをズボンに入れ、突き指などのけがを防止する。
- ルール、コート(場)の広さ、人数は、実態に応じてする。

<活動・場の工夫の例>

- 宝とり鬼(通り抜け鬼)

鬼は、決められた範囲(線の上など)を動きながら、通り抜けようとする人のタグ(フラッグ)を取ります。

通り抜ける人は、鬼にタグやフラッグを取られないよう、すきまを見付けたりタイミングを意識したりして、通り抜け方を工夫します。

タグ(フラッグ)を鬼に取られたら、タグを付けなおしてスタート位置からやり直します。

制限時間内に、何回通り抜けることができたか(あるいは何個宝を取ることができたか)を競います。

鬼が2人以上の時は、鬼同士の距離が近づきすぎないように配慮します。



■しっぽ取り鬼

ポリテープなどを切って作った「しっぽ」を取り合います。個人戦でもチーム戦でもできます。

しっぽを取られた子は、別のしっぽを付け直して復活できる、などのルールを工夫します。

スペースに応じて人数を調整します。



■線鬼

体育館に引いてある線を使います。逃げたり追いかけることができるのは、線の上だけです。

鬼は、逃げている人を、二人で同一線上で挟み、指をさして「アウト！」と言うと捕まえたことになります。アウトと言われた人は鬼になります。

線の色を一色に限定するなど、ルールの工夫ができます。



■ことば見つけ鬼

2 チームに分かれて、一方のチームは、相手(鬼)にわからないように「ことば」(自分の好きなもの)を書いたテープを背面部に貼ります。

開始の合図とともに、鬼チームは、相手チームの人の背面部に貼ってある言葉を見るために追いかけます。

逃げる方のチームは、背中の文字を鬼に見られないようにして逃げます。

制限時間になったら、鬼が読み取った宝の名前を挙げていきます。

追いかけるチームと逃げるチームを交代します。より多くの「ことば」を読み取って当てたチームの勝ちです。



■玉ぶつけ助け鬼

鬼は、玉(新聞紙を丸めたものなど)を1つ保持しながら、相手を追いかけます。距離が近づいたらタッチのかわりに玉を下から投げて当てます。

玉を当てられた人は、その場で好きなポーズをして固まります。

逃げている人は、固まっている人の前に行き、同じポーズをしたら、固まっている人が復活します。慣れてきたら、面白いポーズで固まると盛り上がります。



【授業後】

■手洗いの指導をしっかりと行う。